

SMFアート寺子屋2021「レクチャープログラム」

「アート寺子屋」は、ヒアシンズハウスとその活動について学ぶプログラムを展開します。
新木場倶楽部「木まつり2021」とヒアシンズハウスの会「夢まつり」と協力して実施します。

参加費：無料

第1回：別所沼公園にあるヒアシンズハウスの17年

—個人意識が共有されるための地域プロセスデザイン—ヒアシンズハウスの建設・運営・維持管理を通して

9月11日(土) 13:30～16:00 別所沼会館大会議室

講師：佐野哲史(建築家)／主催：新木場倶楽部／企画協力：JIA埼玉、SMF、ヒアシンズハウスの会

第2回：別所沼公園のヒアシンズハウスができるまで(ヒアシンズハウス・夢まつりの中の講演として実施)

11月6日(土) 13:00～17:00 別所沼会館大会議室

講師：津村泰範(長岡造形大学准教授)／主催：ヒアシンズハウスの会／企画協力：JIA埼玉、SMF

第3回：立原道造とその時代の建築家たち 11月20日(土) 13:00～17:00 別所沼会館大会議室

講師：中谷礼仁(早稲田大学教授)／主催：新木場倶楽部／企画協力：JIA埼玉、SMF、ヒアシンズハウスの会

ヒアシンズハウスアートコロニー展「記憶のありか」

さいたまゆかりの3作家による、様々なジャンルの芸術文化活動を紹介し、アートコロニーを体感できる作品展です。
会期中、作家は公開制作などを行い、公園利用者との交流も行います。

10月30日(土)～11月7日(日) (展示・撤収日) 会場：ヒアシンズハウス前庭

出展作家：浅見俊哉(アーティスト)、石上城行(彫刻家、埼玉大学准教授)、藤井彩加(舞踊家)



浅見俊哉「青写真の瓦版-2021」



石上城行「記憶の容 生きていた舟」



藤井彩加「万博」 11月7日(日) 13:00～13:30

ヒアシンズハウスアートコロニー展「ワークショップ」

別所沼公園の環境を生かしたワークショップを展覧会関連企画として実施します。



◀各ワークショップの
申し込みはこちらで！
(定員以上場合は抽選)

現代アート「記憶の容—生きていた舟—(石上城行作品)」

を鑑賞して★別所沼の古代魚を作ろう！

矢花俊樹(金工家、元 埼玉県立近代美術館エデュケーター)

11月7日(日) 1回目:10:30～11:15、2回目:11:30～12:15 (各集合は10分前)

対象：小学生から大人まで ※小学1、2年生は保護者同伴

定員：各回5名(参加者合計10名)／材料費：500円

石上城行氏の作品「記憶の容 生きていた舟」で、参加者と対話による鑑賞を行います。鑑賞体験をもとに、この幻想的な空間に合わせた古代魚をイメージし、家庭でも簡単にできる「簡単キッチン鋳造技法」で鋳製のオブジェを制作するプログラム。



言葉と写真で綴るわたしの発見

加藤典子(加藤こどもの造形教室主宰)

11月7日(日) 13:45～16:00 (集合は10分前)

対象：小学生 ※保護者同伴。スマホを使って写真撮影。

定員：20名(子ども10名 保護者10名)／材料費：500円

別所沼公園の中を回り自分だけの小さな発見や心動かされる何かを見つけよう。それを子ども自身がスマホで撮影し短い文章にまとめます。それぞれの発見場所を全員で回りながら感じ取ったものを言葉と写真で発表し、共有共感する中で自己肯定感を味わってほしい。「言葉と写真集」は後日参加者に郵送します。



SMFラウンドテーブル2021

これからの文化芸術活動を創造する為の対話集会



◀ラウンドテーブルの
申し込みはこちらで！
(定員以上場合は抽選)

12月5日(日) 14:00～17:00 別所沼会館大会議室 資料代：500円

登壇者：建畠哲(詩人、美術評論家、埼玉県立近代美術館館長)

芹沢高志(アートディレクター、都市・地域計画家、翻訳家)

アンケートの回答等から選出された5名、三浦清史(建築家、SMF代表)



●「これからの文化芸術活動を創造する為のアンケート」調査結果、プログラムのアーカイブ映像のウェブサイト公開！ 2022年3月末予定。

●新型コロナウイルスや天候などの影響により、プログラムの中止または内容を変更する可能性があります。予めご了承ください。

主催：SMF(サイタマミュージアム)／助成：令和3年度オール埼玉で彩る文化プログラム公募事業／協力：ヒアシンズハウスの会・新木場倶楽部●プロジェクトディレクター：浅見俊哉(SMF運営委員)・プロジェクトコーディネーター：三浦清史(SMF代表)／お問い合わせ：メール：smfartnagaya@gmail.com